

川上 博史(かわかみ・ひろし)先生

株式会社スタジオアルタ 代表取締役社長

1949年12月13日生まれ。

1972年、慶応義塾大学経済学部卒業。

同年、(株)三越 入社。銀座店で売場を2年間経験、その後人事関連の業務に携わり、三越再建に向けたTQC活動を推進。

1988～1990年、同社広島店総務部課長に就任。組織改革や業務転換を行い、店の再建に尽力。

1990～1993年、同社総務本部マネジメント推進部課長、総務本部人事部課長を歴任し、全社にマネージャー制を導入、人事制度改革を行う。

1994年、同社新宿店販売促進部長に就任。

1997～1999年、同社営業統括室販売計画部長として、催事改革、ギフト改革などを推進。

1999～2004年、(株)名古屋三越に勤務し、栄店販売促進部長、星が丘店副店長、同社執行役員営業統括室長 兼栄店副店長を歴任。

2004年、(株)三越 首都圏事業部長、中期戦略策定プロジェクトリーダーを務める。

2005～2007年、(株)三越 執行役員 通信販売事業部長としてコスト改革等を行う。

2007年、(株)三越友の会 社長に就任。

2008～年、(株)スタジオアルタ 社長として、改革に邁進。現在に至る。



《講義概要》

他業界での経験を活かし、株式会社スタジオアルタの代表取締役社長として改革に携わる川上博史氏が、スタジオアルタにまつわる話題からエンタテインメント業界全般に通じる考え方まで、多方面の視点からの講義を行った。

講義では、自身の経歴やスタジオアルタの詳細、スタジオアルタでの収録でおなじみの「笑っていいとも」の秘話などを楽しく解説した。また、普段よく耳にする社会問題や話題の中にビジネスチャンスがあるという考え方を示し、さらにコンテンツビジネスを国家戦略に位置付けることなどを、今後の展望として提示した。

また、エンタテインメントとは、「人を感動させたり、人に夢を与えること」であり、楽しくなければ意味がなく、その楽しさは強い意志の中で創り出されるということを論じた。業界において求められる素質についても解説し、メディア業界を志す学生に道を示す講義となった。

〈受講生の感想〉

単に「スタジオアルタは今までこうやった、これからはこうするつもりだ」というようなお話なんだろうな、と思っていたのですが、実際はアルタのことだけではなく、世の中の状況がいかにエンタテインメントに、そしてアルタにつながるかというような広い視点でのお話を聞いたことに、よい意味で期待を裏切られました。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

今、日本のコンテンツビジネスがあまり海外に広がっていない状態であるという事が悲しいです。注目度の高い日本のコンテンツが海外に展開している環境を作ることも大切なことだと思いました。どんな仕事をするにしても、強くないといけないなと思いますが、今日の講義でもおっしゃっていましたが、このような仕事をする人は、夢を持っているというのは非常に大切だなと思います。そして、どんな事にも向かっていく。そういう精神でいたいなと思いました。

佛教大学・社会福祉学部・2 回生

社会の変化にビジネスチャンスがひそんでいる、できっこないことにビジネスチャンスがあるっていう話がとても興味深く、チャンスを待つのではなく現実を切りひらいて探してつかむという姿勢が大切なんだと感じました。メディア産業における人財のところは今後就職活動でも役に立つ内容で肝に銘じたいと思いました。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

環境変化をビジネスに変えるという力はどの業界でも言えることだと思うんですが、それをお笑いの番組とからめていることが、やはりすごいなあと思う要因でした。今までにやったことがないものを創るという面では、「いいとも」は常に企画が変わり、視聴者をたのしませてくれるので、私たちには画面を通して伝わっています。エンターテインメント業界というのは、本当にすごいなあといき言いようがありません。

同志社大学・文学部・3 回生

「エンターテインメントとは」というスライドのところのお話がすごく印象に残りました。楽しくなければ意味がない、とスライドに書かれていましたが、その“楽しい”という言葉の中には深い意味が込められていると思いました。楽しければ、何をしても良い訳ではありません。他番組と異なる、かつそこに意味を持たすことが必要だと思います。その部分を極めている「笑っていいとも」だからこそ、こんなに長年続いているんだと思いました。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

メディア業界で求められる人財のことやエンターテインメントの定義を聞くことができてすごく良かったと思います。売り上げを良くするのではなく、評判を良くするために頑張るという言葉がとても印象的でした。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

